

授業科目名：建築環境計画論

科目コード	10X414
配当学年	
開講年度・開講期	前期
曜時限	木曜 2 時限
講義室	C2-102
単位数	2
履修者制限	無
授業形態	講義
使用言語	日本語
担当教員 所属・職名・氏名	建築学専攻・教授・三浦 研

授業の概要・目的

今後、未踏の高齢社会を迎えるわが国では、社会の活力を維持するうえで、健康寿命の伸展を可能とする建築や環境の計画が求められている。この講義では国内外の医療福祉建築の計画を事例として、人間環境系のデザインを具体的に学ぶほか、新たに生理心理的な指標等の活用も検討しながら環境-行動の解析に取り組み、人の包括的な健康と環境の関係について理解を深める。

成績評価の方法・観点及び達成度

レポートおよび授業中の発表により行う。

到達目標

ディスカッション、演習を通して、自ら課題を発見し、どのように解いていくのか、主体的に思考できる高度な計画力を身につける。

授業計画と内容

項目	回数	内容説明
イントロダクション	1	講義の位置付け、履修上の留意点等について説明する。

医療福祉建築の計画にみる人間環境系のデザイン	4	医療福祉建築の計画を主な題材として、人間環境系のデザインを取り入れた実例や動向、その研究手法について学ぶ。
海外の建築環境計画	3	海外における最新の医療福祉建築の計画手法について学ぶ。
アクションリサーチ	2	環境行動の視点からアクションリサーチに取り組み、その分析を踏まえて建築環境計画を立案する手法を学ぶ。
建築環境計画の分析	2	データの分析手法について実践を通して理解する。
現地事例見学	2	最新の設計事例から医療福祉建築の計画手法について学ぶ。
学習到達度の確認	1	講義全般のまとめと学習到達度について評価する。

教科書

授業は配付プリント、及びプロジェクタによるスライドを用いて行う。

参考書等

日本建築学会編：人間－環境系のデザイン、彰国社、1997年 日本建築学会（編）『生活空間の体験ワークブック』彰国社、2010年 その他、授業中に紹介する。

履修要件

特に定めない

授業外学習(予習・復習)等

授業外に取り組むレポート等の課題を課す。

授業 URL

講義中に適宜指示する。

その他(オフィスアワー等)

本講義は、工学既存科目(10B014)「建築環境計画論 I」と同一のものである。